

奨学生活動についてご紹介します

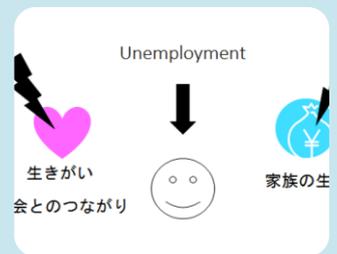
群馬民医連奨学生を中心に活動していますが、奨学金を受けていなくても参加ができます。大学では専ら【医学】について学ぶ機会が多く、【医療】について学ぶ機会は少ないと思います。医療や社会のことを一緒に学び、広い視野を養う場としての活動です。将来の医師像や医療観を仲間とともに深め、大学では学べないことを一緒に学んでみませんか？

内容は学生の希望に応じて変わりますが、最近の活動では、WHO が発表している「Social Determinants of Health (健康の社会的決定要因)」について学び、学生同志で発表しあいました。また、産業医、保健師、歯科医師、メディカルソーシャルワーカー、さらには「労働と医療」について学ぶために群馬県労働会議事務局長、弁護士の先生など、医療の垣根を越えて様々な先生からお話を伺って見聞を広めています。



アルコール依存者の問題

- ※ アダルトチルドレン
- ※ うつ病
- ※ 引きこもり



健康を重視した交通とは？

バスや鉄道などの公共輸送機関の整備により
自動車の利用を減らし
徒歩や自転車の利用を増やす
ことを指す



例題：5か月の子ども

6か月未満の乳児では0.6%にしか
注目を認めない。
NICU (Neonatal Intensive Care Unit) 403, 1999

今や注目の乳児を診た場合、初回から臨床的注目を認め、プロトコルに則った遺伝性検査評価、詳細な家系調査を行うことが、子どもの予後を最も改善しうる。



フィールドワーク学習

座学だけではなく、フィールドワークの体験を通して学びを深めます。地域再生大賞で準大賞に選ばれた大戸診療所を見学したり、福島被災地視察に参加したり、生活困窮者の炊き出しに参加してみたり、生活保護世帯の訪問をして実際にお話を聞いたり、建設現場に行って労働実態を見にいったり、農家や教師にインタビューしたり…etc. 実際現場に足を運ぶことで新たな発見があります。その時々で紙面で話題になっていることや学生から希望のあったフィールドに足を運んでいます。



医学生のつと

医学生の全国交流の機会です。自分が将来どういう医師になりたいか、いま日本ではどのようなことが起きているのか、全国の医学生は何を考えているのかなど、様々な興味、関心をもとにじっくり学習と討論をし、そしておおいに交流しています。医学・医療の問題にとどまらず、幅広く社会のことも考えていけるようなテーマを決めて講演を聴いたり、フィールドワークで地域に出かけたり、少人数グループで討論したり…。県内では看護学生や薬学生とも交流する機会があります。



ランチタイムミーティング



群馬民医連事務局（前橋市
上小出町 2 丁目 36-1）
2 階にて
毎週金曜日 12:00 より
ランチが無料で食べられます。
病院の学習企画の紹介あり。
※長期休暇中はお休みです。
今年度は 4 月 10 日（金）
よりスタート！
お誘いあわせの参加も大歓迎。
皆様のお越しを
お待ちしております☆